

図書館だより

2024.5月号

農芸高校図書館 2024.5.27 発行

図書委員のカウンター当番も慣れてきました。一年間、よろしくお願いします。

読書感想文全国コンクール 参加募集

高校の部 課題図書3冊(下記)は図書館にもあります。
自分の好きな本でも応募できます。ぜひチャレンジを！



宙(そら)わたる教室 伊与原新 著

都立高校の定時制に通う、さまざまな事情を抱えた生徒たちが「科学部」を結成。「火星のクレーター」を再現する実験に挑みますが……。

この小説は、実際に高校生たちが行った研究がきっかけに誕生したものだそうです。

「学んで楽しい！」 実習や探究学習に取り組む農芸生もきっと共感できるのではないのでしょうか。



優等生サバイバル 青春を生き抜く13の法則

ファン・ヨンミ 作

勉強や進路、SNS……もっと時間が欲しい、のは日本の高校生たちも同じかもしれません。“優等生”の主人公が考えた“法則”とは？ 韓国の高校生事情を知り、共感が持てるかも。



私の職場はサバンナです！ 太田ゆか 著

南アフリカ政府が公認する唯一の日本人女性サファリガイドの著者。知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線を伝えます。人と自然の共生は、農業を学ぶ皆さんにとっても身近な問題ですね。



Q. どうして感想文を書くの？

A. もちろん読むだけでも意味はあります。1冊の本との出会いがきっかけで自分が変わることもあるかもしれません。ただ、その強い印象は時間とともに変化したり薄れてしまうこともあります。感想文を書くことで、自身が心を動かされたこと、なぜそう思ったかなどを、残すことができます。じっくり考えたり、自分の考えを人に伝える訓練にもなります。

コンクールの公式サイトでは、著名人が自身の読書体験を紹介しています。



<図書委員がおすすめ本を紹介します>



『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬 著

農村で暮らしている少女セラフィマは、ドイツ兵に目の前で母親や村人を殺害される。自らも殺される寸前、赤軍の女性兵士イリーナに救われ、「戦いたいのか、死にたいのか」と問われる。少女は復讐を誓い、女性だけの狙撃小隊の1人となる。

戦争とは、敵は誰かと考えさせられる。普段小説を読まない人にも勧めたくなる作品。



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』 汐見夏衛 著

全ての事にイライラしていた中学2年生の夏を送る百合。ある日、家出をし防空壕で寝ていたら1945年の夏にタイムスリップしていた。そこで出会った特攻隊員の彰と日々を送っていくうちに恋をしてしまうが…。

この先は本を読んでください。著者の他の本も図書館にあるのでオススメです。

実写映画もあります。ぜひレンタルして見てください。

新しく入った本から

椿ノ恋文 (小川糸 著)

依頼人に替わって手紙を書く「代書屋」。主人公の鳩子が奮闘する人気シリーズ3作目。物語の光景や言葉を集めた『椿ノ恋文画集』と一緒にどうぞ。

(書影データなし)

長浜高校水族館部！ 令状ヒロ子 著

愛媛県には、生徒が水族館を運営している県立高校があります！実在する部取材して書かれた小説で、1年生の英語教科書にも載っているそうです。



おしごとそうだんセンター

そもそも、仕事って何？ 希望の仕事につけなかったら？ 人気イラストレーター、ヨシタケシンスケさんによる、ほのぼの（だけど深い！）絵本です。



食卓の世界史

「パンが無いならお菓子を・・・」は有名なセリフですが、料理を通して歴史を見るのも面白いと思います。ハンバーガー誕生にまつわるエピソードも書かれています。



<続巻が入りました>

『薬屋のひとりごと 13』

『わたしの幸せな結婚 7, 8』

『MASHLE 18』

